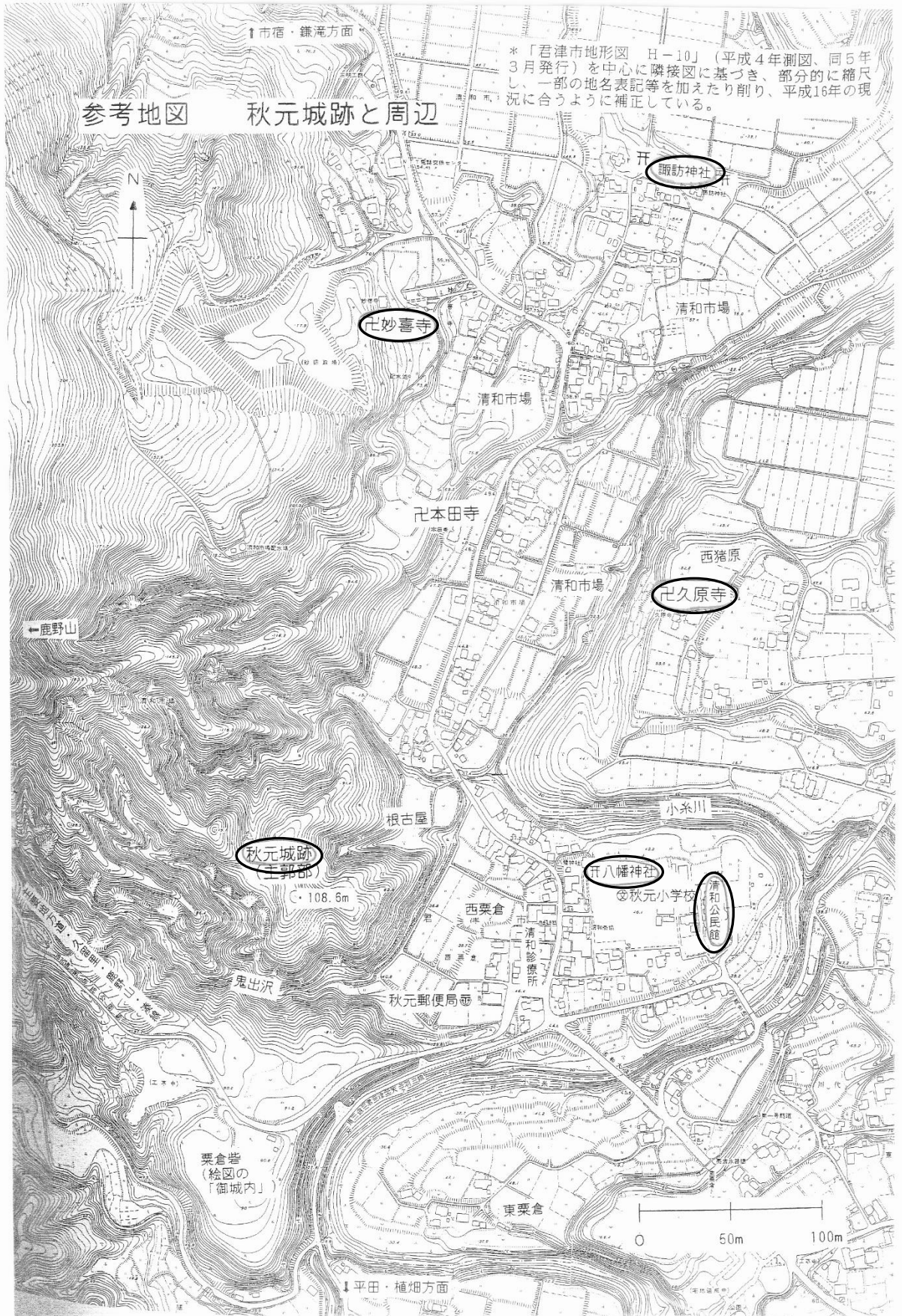


手元資料① 秋元荘の地図



手元資料② 秋元城



来訪者の皆様へ

- 城跡内は私有地です。
下記のことに注意し見学して下さい。
1. 火気は厳禁です。
 2. ゴミはもち帰りましょう。
 3. 草花・樹木などは、とらないようにしましょう。
 4. 斜面地などの危険箇所には、立ち入らないようにしましょう。
 5. マムシ・スズメバチなどの危険な生き物には注意しましょう。

交通 JR君津駅南口・
JR木更津駅西口より
日東バス粟倉行き田中台
下車徒歩5分。



秋元城跡鳥瞰図

※本図は平成14年度、君津市教育委員会が作成した「秋元城跡地形測量図」を基に
コンピューター処理し、図化したものです。また、図中の大文字ゴシックは、近世
の所産と考える「秋元城絵図」(個人蔵)に記載された名称です。

編集・発行 君津市教育委員会生涯学習課 〒299-1192 千葉県君津市久保2-13-1
TEL 0439-56-1422 平成20年(2008)1月31日発行

戦国の城 秋元城跡



秋元城跡(中央)・鹿野山白鳥峰(左上)・浅間山(右上)

秋元城跡は、小糸川上流部の君津市清和市場字根古屋に所在
する戦国時代の山城で、小糸城、青鬼城の別称があります。

秋元城周辺は、そのむかし上総国周東郡秋元庄と呼ばれて
いました。秋元氏は鎌倉時代からその領主で、戦国時代の永正期頃
(16世紀初め)にこの秋元城を築いたと伝えられています。その後、
北条氏と里見氏が房総の領地をめぐる争った天文～永禄期
(16世紀中頃～後半)にも、秋元庄一帯を守り抜いていますが、天正
期の末(16世紀末)には里見氏の支配化に入っています。

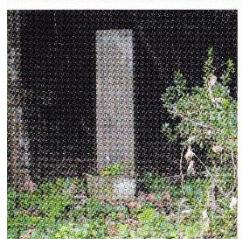
秋元城は、秋元氏代々の居城として、また、当事の城の有様を
よく伝えるものとして貴重な文化遺産です。



麓の根古屋地区 昭和40年代前半に削平・整地



「小糸城々址」顕彰碑
昭和36年、市場区が建立した碑で、文と書は子孫の秋元順朝（なおも）氏によるもの



「青鬼大神」碑 築城の際、人柱となった地元の娘「おげん」を埋葬した場所



通称「西向三段」 三段の曲輪、左上が「御殿」



通称「御殿」 主郭部で最高所の曲輪。標高は107mあり、麓との比高は70m。泥岩を削り残した土壁が見られます



八幡社祠裏の堀切 西側尾根筋の防御



通称「千駄蔵」 兵糧を入れる蔵があった場所か

秋元城跡の規模は東西460m、南北400mの丘陵全体に及んでいますが、とりわけ山上は曲輪の周囲を切岸・堀切・横堀で防御した優れた遺構が残されています。また、山麓には根古屋や内宿の字名が残り城下町が広がっていたと思われます。



通称「千畳」 山上で最も広い曲輪

平成13年度～平成15年度にかけて行われました発掘調査では、山上と山麓で掘立柱建物跡が確認され、また、瀬戸・美濃産や中国産の陶磁器、かわらけ(素焼きの皿)、銭貨などが出土しています。



発掘調査の様子



掘立柱建物跡の柱穴



出土したかわらけ・陶磁器